

令和6年度

# 市議会のあらかし



 富良野市議会

目 次

1. 市の概況	1 頁
2. 議会の構成	2 頁
3. 議員定数	3 頁
4. 富良野広域連合議会への市議会からの選出議員	3 頁
5. 議会推せん議員のある長の付属機関	3 頁
6. 先例・申合せ	3 頁
7. 市の予算と議会費	4 頁
8. 市の財政状況	6 頁
9. 議員報酬及び期末手当等	7 頁
10. 資料（富良野市議会活動状況）	9 頁

## I. 都市宣言

1. 青少年健全育成都市宣言 (昭和 42 年 10 月 9 日)
2. 交通安全都市宣言 (昭和 42 年 10 月 9 日)
3. 青色申告と諸税完納都市宣言 (昭和 53 年 3 月 23 日)
4. 暴力追放都市宣言 (平成 4 年 3 月 19 日)
5. 食と自然を守る都市宣言 (平成 5 年 1 月 22 日)
6. 世界平和・非核平和都市宣言 (平成 22 年 9 月 17 日)

## II. 富良野市の木及び花 (昭和 48 年 9 月 14 日選定)

1. 市の木 ホオノキ、イチイ
2. 市の花 エゾムラサキツツジ

## III. 富良野市の鳥及び獣 (昭和 48 年 9 月 14 日選定)

1. 市の鳥 クマゲラ
2. 市の獣 エゾリス

## IV. 富良野市民憲章 (昭和 44 年 7 月 28 日制定)

わたしたちは、北海道の中心標が立つ富良野の市民です。

わたしたちは、この美しい自然の環境に つつまれながら新しい生産都市をつくりあげるために自信と誇りをもって進みます。

- 1 明るく 健康で働くまち富良野
- 1 あたたかく みんなの幸せを願うまち富良野
- 1 大きく 未来に生きる知性のまち富良野

## 1. 市の概況

＝市制施行 昭和 41 年 5 月 1 日＝

北海道の中央に位置する富良野市は、東に北海道の屋根と言われる大雪山連峰十勝岳を望み、西に夕張山系芦別岳を仰ぎ、そして南北に貫流する空知川など美しい自然の中に息づく風光明媚な田園都市です。

明治 30(1897)年に開拓の鋤がおろされて以来、先人の血のにじむような努力と、100 年を超える歴史とともに盆地は拓け、農産物も北海道で生産可能なすべての作物が収穫できるという恵まれた土地条件です。

本市は、富良野町と東山村（昭和 31(1956)年）、更に山部町（昭和 41(1966)年）と合併して市制施行以来 50 年が経過し、富良野広域圏の中核都市として経済、文化、教育の振興と福祉の充実に努めております。また、北海道の中心に位置することから観光と商業の振興から始まった市民手づくりの「北海へそ祭り」や、経済の活性化を目指し基幹産業の農業と観光を結びつけ、地元の農畜産物を利用した「ワイン」・「チーズ」の製造、そして、過去 10 回の FIS ワールドカップスキー大会開催の実績を誇る国際的なスキー場を有するなど、「へそとスキーとワインのまち」として市民ぐるみのまちづくりに取り組んでいます。

また、友好都市には「スキーと観光のまち」であるオーストリア連邦共和国のシュタイヤマルク州シュラートミンク市と、国内では「日本のへそ」である兵庫県西脇市と協定を結び、市民同士の交流・親善を進めています。

面積	600.71km <sup>2</sup>	広 ぼ う	東 西 32.8km 南 北 27.3km
人 口 (うち外国人)	令和 6 年 3 月 末 19,639 人(491 人) 男 9,248 人(190 人) 女 10,391 人(301 人)	経 緯 度	東 経 142 度 16 分 ～142 度 40 分 北 緯 43 度 09 分 ～43 度 24 分
世 帯 数	10,496 世帯(454 世帯)		
産 業 別	1 次 2,318 人 (20.4%)	標 高	市役所 171.3m
就 業 人 口 (R 2 国 調)	2 次 1,285 人 (11.3%) 3 次 7,757 人 (68.3%)	J R 国 道	根室本線・富良野線 38 号・237 号

## 2. 議会の構成

(任期：令和5年5月1日～令和9年4月30日)

議席 順序	氏 名	年齢	当選 回数	職 業	会 派 (政党)	常任委員会	備 考
1	宮 田 均	70	5	飲食業	無 会 派 (無所属)	市民福祉	
2	松下 寿美枝	46	2	子育てコーチ	市民連合議員会 (立憲民主党)	◎総務文教	議 運 ○議会広報
3	橋 詰 亜 咲 美	37	1	無 職	市民連合議員会 (立憲民主党)	市民福祉	議会広報
4	家 入 茂	61	2	自 営 業	富良野クラブ (無所属)	経済建設	
5	坂 口 邦 夫	47	1	農 業	富良野クラブ (無所属)	総務文教	議会広報
6	関 野 常 勝	69	4	小売会社 役 員	富良野クラブ (無所属)	市民福祉	議会広報
7	佐 藤 秀 靖	60	3	無 職	ふらの未来の会 (無所属)	○経済建設	◎議 運
8	二 宮 利 和	56	1	就労支援事業所 カナエル施設長	ふらの未来の会 (無所属)	経済建設	議会広報
9	大 西 三 奈 子	45	3	会社役員	ふらの未来の会 (無所属)	○市民福祉	議 運 ◎議会広報
10	今 利 一	71	7	農 業	市民連合議員会 (立憲民主党)	経済建設	副 議 長
11	大 栗 民 江	65	5	無 職	無 会 派 (公明党)	総務文教	議会広報
12	天 日 公 子	75	6	無 職	富良野クラブ (無所属)	◎経済建設	議 運
13	石 上 孝 雄	69	4	農 業	富良野クラブ (無所属)	総務文教	議 運
14	後 藤 英 知 夫	64	4	農 業	富良野クラブ (無所属)	◎市民福祉	○議 運
15	本 間 敏 行	69	4	無 職	ふらの未来の会 (無所属)	○総務文教	議選監査
16	渋 谷 正 文	55	4	無 職	ふらの未来の会 (無所属)	所属なし	議 長

(注) ◎:委員長 ○:副委員長 平均年齢:60.0歳 (令和6年4月1日現在)

特別委員会の設置状況:議会広報特別委員会(令和5年5月19日設置・委員7名)

### 3. 議員定数

昭和41年5月1日 定数 30人	平成15年5月1日 定数 20人
昭和50年5月1日 定数 26人	平成19年5月1日 定数 18人
平成3年5月1日 定数 24人	令和5年5月1日 定数 16人
平成11年5月1日 定数 22人	

### 4. 富良野広域連合議会への市議会からの選出議員

議 員 名	期 間
石上孝雄 (議長) 今利一 (文教環境) 本間敏行 (議運・総務産業)	自 令和5年 5月19日 至 令和9年 4月30日

### 5. 議会推せん議員のある長の付属機関

名 称	任期	議 員 名
都市計画審議会	4年	家入 茂 大西 三奈子 松下 寿美枝
民生委員推薦会	3年	後藤 英知夫 大西 三奈子 ※市民福祉正副委員長

### 6. 先例・申合せ

#### (1) 一般質問

通告制（通告期限は議会運営委員会で決定するが、原則として告示日）。

順序は抽選により決定する。

発言回数に制限は設けない。

質問時間は、原則として1人60分（答弁含む）を限度とする。

質問者の数は、通告者全員を対象とし、質問者数に制限を設けないものとする。

一般質問の日程は、質問の通告者が10人までの場合は2日間、11人以上の場合は3日間とする。

質問の方法は、一回目の質問は登壇して全問まとめて質問をし、その答弁に対する再質問からは、自席で一問一答方式により質問するものとする。

#### (2) 代表質問

3月定例会時に、市長、教育長の市政執行方針、教育行政執行方針に対し行う。

通告制をもって行い、原則として質問は1回限りとする。

代表質問者は、各会派の代表者により行う。

#### (3) 予算特別委員会

議長が会議に諮って、議員全員により設置されるのが例である。

会期中に審議される。

3月定例会設置。

#### (4) 決算審査特別委員会

議長が会議に諮って、議長及び議選監査委員を除く議員全員により設置されるのが例であり、閉会中に継続審査を行い次の定例会までに報告する。

9月定例会設置、12月定例会報告。

7. 市の予算と議会費（令和6年度）

① 一般会計（当初）

（単位：千円）

歳 入			歳 出		
款	予 算 額	構 成 比	款	予 算 額	構 成 比
市 税	2,630,260	17.1%	議 会 費 (次頁参照)	124,764	0.8%
地 方 譲 与 税	227,878	1.5%			
利子割交付金	780	0.0%	総 務 費	3,670,799	23.9%
配当割交付金	6,100	0.0%	民 生 費	4,257,464	27.7%
株式等譲渡所得割交付金	8,500	0.1%	衛 生 費	962,618	6.3%
法人事業税交付金	47,900	0.3%	労 働 費	18,337	0.1%
地方消費税交付金	604,700	3.9%	農 林 業 費	634,617	4.1%
ゴルフ場利用税交付金	4,600	0.0%	商 工 費	345,133	2.2%
環境性能割交付金	29,900	0.2%	土 木 費	1,550,410	10.1%
国有提供施設等所在 市町村助成交付金	1,326	0.0%	教 育 費	690,505	4.5%
			公 債 費	1,263,172	8.2%
地方特例交付金	33,500	0.2%	給 与 費	1,822,181	11.9%
地 方 交 付 税	5,349,783	34.9%	予 備 費	10,000	0.1%
交通安全対策特別交付金	2,400	0.0%			
分担金及び負担金	178,656	1.2%			
使用料及び手数料	153,788	1.0%			
国 庫 支 出 金	1,900,945	12.4%			
道 支 出 金	1,035,010	6.7%			
財 産 収 入	29,422	0.2%			
寄 附 金	595,011	3.9%			
繰 入 金	962,374	6.3%			
繰 越 金	1	0.0%			
諸 収 入	692,766	4.5%			
市 債	854,400	5.6%			
合 計	15,350,000	100.0%	合 計	15,350,000	100.0%

※議会費

(単位：千円)

節	金額	説明	
1. 報酬	62,679	議員報酬	60,708
		会計年度任用職員報酬	1,971
3. 職員手当等	26,920	議員期末手当	26,181
		各種手当(会計年度任用職員)	739
4. 共済費	17,648	議員共済会負担金	17,648
8. 旅費	8,767	費用弁償及び旅費	6,569
		普通旅費	2,198
9. 交際費	800	議長交際費	800
10. 需用費	4,105	文具・消耗器材及び印刷代	3,907
		食糧費	98
		器具修繕	100
11. 役務費	27	通信運搬費	27
12. 委託料	2,861	ラジオ放送委託料等	1,021
		議事録作成支援システム保守委託料	770
		議事録反訳整文委託料	1,070
13. 使用料及び賃借料	496	自動車借上料	20
		プログラム使用料	476
18. 負担金補助	461	各種会議・団体負担金	461
合計	124,764		

② 特別会計(当初) (単位：千円)

会計名	予算額
国民健康保険	2,547,000
介護保険	2,424,500
後期高齢者医療	402,800
合計	5,374,300

③ 企業会計(当初)

(単位：千円)

会計名	収益の収入	資本的収入	収益の支出	資本的支出
水道事業	584,200	257,700	556,600	442,400
下水道事業	745,100	347,300	742,300	490,300
ワイン事業	467,100	0	466,100	324,800
合計	2,401,400		3,022,500	

各会計予算総額(当初)

(単位：千円)

会計区分	予算額	前年度予算額	比較
① 一般会計	15,350,000	14,000,000	1,350,000 (9.6%)
② 特別会計	5,374,300	5,598,100	▲223,800(▲4.0%)
③ 企業会計	3,022,500	2,824,000	198,500 (7.0%)
総額	23,746,800	22,422,100	1,324,700 (5.9%)



## 8. 市の財政状況

### ①性質別歳出の状況（令和4年度決算）

区 分	決算額（千円）	構成比（％）	備 考
義務的経費	6,134,176	36.3%	
人件費	2,381,836	14.1%	
扶助費	2,354,353	13.9%	
公債費	1,397,987	8.3%	
投資的経費	3,445,059	20.4%	
普通建設事業費	3,435,460	20.3%	
うち補助	2,345,513	13.9%	
うち単独	949,852	5.6%	
うちその他	140,095	0.8%	
災害復旧事業費	9,599	0.1%	
物件費	2,319,575	13.7%	
維持補修費	581,579	3.4%	
補助費等	2,429,049	14.3%	
積立金	861,705	5.1%	
投資及び出資、貸付金	87,015	0.5%	
繰出金	1,073,765	6.3%	
合 計	16,931,923	100.0%	

### ②財政内容（令和4年度決算）

区 分	内 容（千円）	備 考
普通会計歳入総額	17,140,036	
自主財源	5,146,021	30.0%
依存財源	11,994,015	70.0%
基準財政需要額	7,544,017	
基準財政収入額	2,676,772	
実質公債費比率	1.9%	
財政力指数（3カ年平均）	0.350	
経常収支比率	90.6%	※
市町村類型	I-1	

※ 経常収支比率には、減収補てん債(特例分)及び臨時財政対策債を含める。  
 含めない場合の経常収支比率は91.7%

参考：職員数（令和6年4月1日現在）

区 分	定 数(人)	実 数(人)	備 考
市 長 部 局	190	173	市長・副市長・再任用（パートタイム）を除く ワイン事業会計を含む
議 会 事 務 局	4	4	
選挙管理委員会	1	1	正職員1人
監査委員事務局	2	1	正職員1人、再任用（パートタイム）を除く
教 育 委 員 会	60	50	教育長・再任用（パートタイム）を除く
農 業 委 員 会	4	3	
地方公営企業	14	12	水道事業会計5人（簡水含む） 下水道事業会計7人
計	275	244	

## 9. 議員報酬及び期末手当等

### 議員報酬

施 行 年 月 日	報 酬 月 額 (円)		
	議 長	副議長	議 員
昭和 41年 5月 1日	35,000	31,000	28,000
43年 12月 1日	48,000	42,000	36,000
45年 4月 1日	53,000	46,000	40,000
47年 6月 1日	68,000	60,000	53,000
48年 9月 1日	80,000	70,000	62,000
49年 9月 1日	110,000	95,000	85,000
52年 1月 1日	150,000	125,000	115,000
53年 1月 1日	170,000	143,000	131,000
54年 1月 1日	190,000	165,000	153,000
55年 4月 1日	210,000	183,000	170,000
57年 4月 1日	240,000	210,000	190,000
60年 10月 1日	268,000	235,000	215,000
64年 1月 1日	310,000	270,000	250,000
平成 3年 12月 1日	340,000	300,000	270,000
5年 6月 1日	367,000	324,000	292,000
7年 6月 1日	372,000	327,000	295,000
9年 6月 1日	382,000	337,000	310,000

### 期末手当

改 正 年 月 日	6月	12月
令和 6年 4月 1日	100分の225	100分の225

### 費用弁償

改正年月日	車賃	日当	宿泊料
令和6年4月1日	20円/km	道内 1,100円 道外 2,200円	道内 10,900円 道外 12,000円

### 会議日当

区分	会議日当	車賃	備考
本会議	なし	5km以上バス賃実費支給 又は1km当たり20円	
委員会	なし	同上	

### 参考：市長等給与

改正年月日	市長	副市長	教育長
平成20年4月1日	812,000円	663,000円	576,000円

## 10. 資料

### 富良野市議会活動状況

〔 自 平成 29 年 1 月  
至 令和 5 年 12 月 〕

本 会 議 日 数 (1~12月)

区 分	定 例 会		臨 時 会		計		会 期 内 訳	
	回数	会期	回数	会期	回数	会期	本会議	休会
H29	4回	57日	3回	3日	7回	60日	24回	36日
H30	4回	59日	3回	3日	7回	62日	22回	40日
R元	4回	61日	2回	2日	6回	63日	22回	41日
R2	4回	68日	6回	6日	10回	74日	25回	49日
R3	4回	66日	3回	3日	7回	69日	20回	49日
R4	4回	60日	5回	5日	9回	65日	22回	43日
R5	4回	56日	2回	2日	6回	58日	18回	40日

委 員 会 等 開 催 日 数 (1~12月)

(単位：日)

区 分	常 任 委 員 会				特 別 委 員 会										
	総務文教	市民福祉	経済建設	小計	予算	決算	議会改革	広報	推進	議会活性化	売市場調査	公設地方卸	新庁舎建設	基本構想画	小計
H29	16	14	20	50	4	5		17	13	4					43
H30	17	27	24	69	4	5		17	10			6			42
R元	16	16	13	45	4	5	6	15				3			33
R2	20	18	15	53	4	5	3	15					7		34
R3	15	18	14	47	4	5	4	18							31
R4	20	25	18	62	4	6	5	18							32
R5	15	16	14	45	4	5		20							29

区 分	そ の 他				総 計
	議会運営	議員協議会	代表者会議	小計	
H29	15	3	9	27	120
H30	15	3	19	38	149
R元	14	6	10	30	108
R2	23	11	19	53	140
R3	17	16	8	41	119
R4	17	12	10	40	134
R5	15	8	10	33	107

### 会 議 時 間 調 べ (令和5年1～12月)

区 分	会 議 名	日数	会議実時間	1日平均
定例会	定 例 会	16日	32時間14分	2時間00分
臨時会	臨 時 会	2日	2時間04分	1時間02分
特別委員会	予 算 特 別 委 員 会	4日	4時間26分	1時間06分
	決 算 審 査 特 別 委 員 会	5日	5時間36分	1時間07分
	議 会 広 報 特 別 委 員 会	20日	47時間34分	2時間22分
常任委員会	総 務 文 教 委 員 会	15日	12時間26分	49分
	市 民 福 祉 委 員 会	16日	16時間37分	1時間02分
	経 済 建 設 委 員 会	14日	15時間09分	1時間04分
そ の 他	議 会 運 営 委 員 会	15日	11時間15分	45分
	議 員 協 議 会	8日	5時間03分	37分
	代 表 者 会 議	10日	8時間11分	49分

※上記に現地調査時間は含まない。

### 傍 聴 者 数 (1月～12月)

区分	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
延べ人数	77人	94人	113人	151人	36人	51人	64人 内訳 定例会 39人 臨時会 4人 予 特 3人 決 特 3人 議 運 2人 総務文教 13人

取 扱 い 一 式 (令和5年1~12月)

(単位：件)

会 議 名		1定	2定	3定	4定	1臨	2臨	合計
市長側提出案件	予 算 案	17	2	7	9	1	1	37
	条 例 案	10	3	2	13		1	29
	議 決 案	2	1	3	2			8
	決算認定				8			8
	専決処分	3		2	1	1	4	11
	報 告		5	7				12
	人 事						2	2
	承 認			1				1
	再 議							0
	小 計	32	11	22	33	2	8	108
議会側提出案件	条例・規則	1						1
	意見書案		2	5	2			9
	決 議 案							
	請 願			1				1
	陳 情							
	報 告	10	5	8	9			32
	選 挙						3	3
	選 任						2	2
	指 定						1	1
	許 可		4	2	3		2	11
	派 遣		1	3	2		1	7
	動 議						1	1
	小 計	11	12	19	16	0	10	68
<b>計 ①</b>		<b>43</b>	<b>23</b>	<b>41</b>	<b>49</b>	<b>2</b>	<b>18</b>	<b>176</b>
付託審査案件	条 例 案		1		1			2
	決算認定			8				8
	請 願							0
	議 決 案							0
<b>計 ②</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>10</b>
<b>合計 (計①+計②)</b>		<b>43</b>	<b>24</b>	<b>49</b>	<b>50</b>	<b>2</b>	<b>18</b>	<b>186</b>

# フらのワイン フらのぶどう果汁

富良野市

## まずはふらのワインで乾杯条例

平成25年12月13日  
富良野市条例第29号

(目的)

第1条 この条例は、本市の特産品であるふらのワイン及びふらのぶどう果汁（以下「ワイン等」という。）による乾杯の習慣を広めることにより、ワイン等の普及の促進を図ることを目的とする。

(市の役割)

第2条 市は、ワイン等による乾杯とその普及の促進に積極的に取り組むよう努めるものとする。

(事業者の役割)

第3条 ワインの生産に関する事業を行う者は、ワイン等による乾杯とその普及を促進するために主体的に取り組むとともに、市及び他の事業者と相互に協力するよう努めるものとする。

(市民の協力)

第4条 市民は、市及び事業者が行うワイン等による乾杯とその普及の促進に関する取り組みに協力するよう努めるものとする。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

平成25年12月、北海道で初めての乾杯条例を議員提案で制定しました。

富良野市議会



=市議会のあらし=

令和6年4月1日 改訂発行

発行者 **富良野市議会事務局**